

安全に高精度でエレメントを設置する非開削工法



到達側のけん引架台に取り付けた油圧ジャッキで掘削装置およびエレメントをPC鋼線で引き込むことで、安全に高精度でエレメントを設置できます。

HEP & JES工法

貫入したエレメントをそのまま本体構造物として用います。工期短縮、安全性の向上はもちろん、軌道や路面に与える影響を最小限に抑えることが可能な工法です。

都市再生の切り札

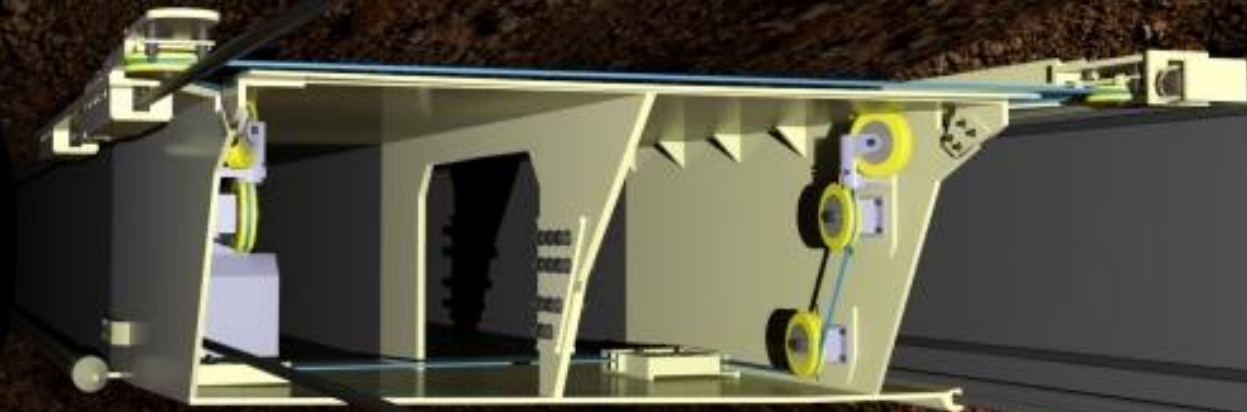
進化する鉄建のアンダーパス技術

地盤切削JES工法

支障物の有無を問わず、地盤変状が生じにくいエレメント掘進を目指したものです。軌道の変状をほとんど発生させないため、列車運行時間帯の上床エレメント施工を実現。工期短縮が図れます。



特殊なワイヤーで地盤を切削しながら、土中にエレメントを挿入していきます。土中の支障物を切削し、必要分をエレメント内に取り込むため、上部の交通に与える影響を極限まで低減しています。



HEP & JES工法を改良
列車運行時間帯でも施工可能



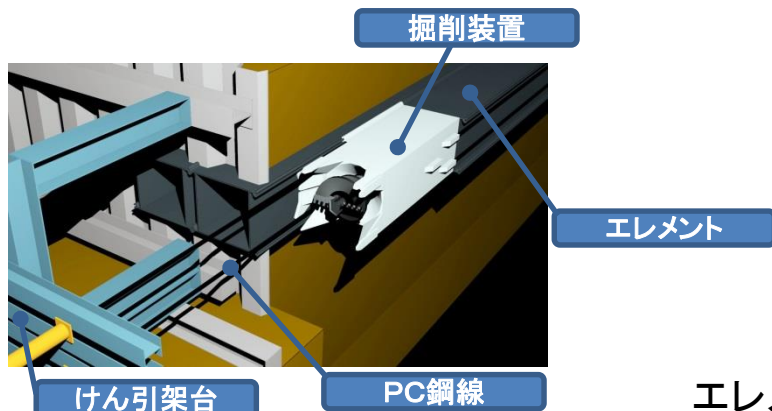
鉄建建設株式会社

進化する鉄建のアンダーパス技術

HEP&JES工法

道路・線路の下に安全に高精度でエレメントを設置 —HEP工法—

到達側のけん引架台に取り付けた油圧ジャッキで掘削装置およびエレメントをPC鋼線で引き込むことで、安全に高精度でエレメントを設置できます。



HEP工法 概要

土中に設置したエレメントは、JES継手同士で連結されており、内部にコンクリートを充填することで、ボックスを構築できます。

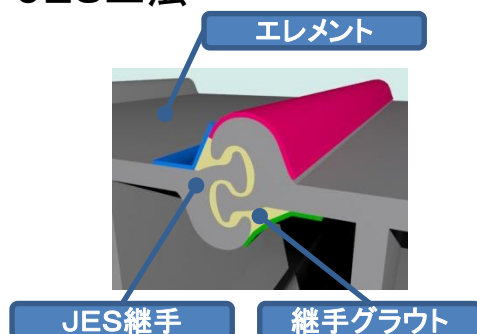


HEP&JES工法 概要



HEP工法 施工状況

エレメントを継手で連結し、ボックスを構築 —JES工法—

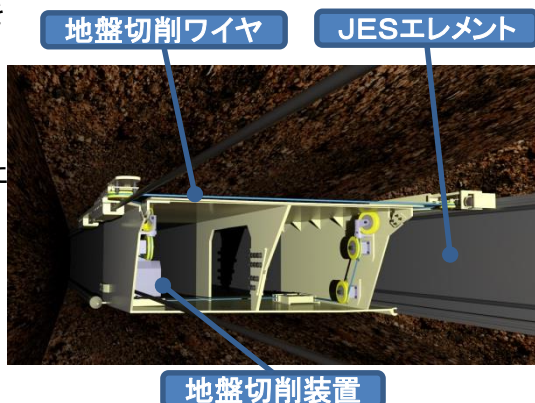


JES継手 概要

地盤切削JES工法

HEP & JES工法を改良し、さらなる安全性の追求しています

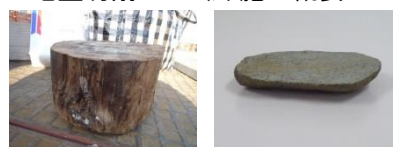
特殊なワイヤーで地盤を切削しながら、土中にエレメントを挿入していきます。土中の支障物を切削し、必要分をエレメント内に取り込むため、上部の交通に与える影響を極限まで低減しています。



地盤切削JES工法 概要



地盤切削JES工法 施工概要



切削された木柱・玉石



鉄 建

アンダーパス工法の詳しい説明はWEBで→

鉄 建

検 索

またお問い合わせは、e-mail:eng@tekken.co.jp まで